

平成29年度教員免許状更新講習シラバス

講習の区分	【選択領域】受講者が任意に選択して受講する領域		
講習の名称	【選択】発達に気がかりのある子どもへの理解と関わり		
開設日	平成29年10月21日(土)	講習時間	6時間
主な受講対象者	幼・小・中・特支教諭、養護教諭	受講人数	60人
講習の形態	対面授業(一部ワークを含む予定)	会場	佐賀大学:理工学部6号館(DC棟) 多目的セミナー室
担当講師	山口 玲子		
講習のねらい・到達目標	子どもの状態にあったかかわりを見立てることができる 「発達障害」の特性とそれを踏まえた対応の必要性について理解できる。 発達の課題と関連して顕在化しやすい児童問題と基本的な対応について理解できる。		
講習内容	講義。個人での作業や体験等、ミニワークを含む。 発達に気がかりのある子どもたちに対して、診断の有無にかかわらず、今必要とされるかかわりを始めることができるような、理解の仕方と基本的態度を学ぶ。		
評価方法・基準	成績評価は、試験の成績や、講習への出席状況から総合的に判断します。評価基準は、総合点で60点以上を合格とします。		
	認定試験 に関して	資料の持ち込み (可)	
講習計画/講習内容			
開始時刻等	担当講師	内容	補足
I 9:00~10:30 (90分)	山口 玲子	「発達と教育」発達とその遅れや偏りといった気がかりの在り様をどう理解するか。その基本的となる姿勢と支援にかかわる基本的な知識について概説する。	
II 10:45~12:15 (90分)	山口 玲子	「発達障害の理解と支援」主な発達障害の特徴を理解し、それぞれにあった支援計画の立て方について考える。事例や小ワークを通じて自分自身の取り組みも振り返る。	小ワークを行う予定
12:15~13:15	昼休み		
III 13:15~14:45 (90分)	山口 玲子	「支援の目的と手立て」について支援の実際を知る。そのうえで支援児の理解と手立てをどのように結びつけるかについて解説する。	
IV 15:00~16:30 (90分)	山口 玲子	「二次障害・児童問題との関連と対応」発達の過程において、環境との連関において生起する様々な困難について、基本的知識(アセスメント、連携などの基本的知識)について学ぶ。 最後に筆記試験を行う(30分程度予定)	
持参するもの	筆記用具		
予習について	特に必要ありません		
受講上の注意	<p>時間割の組み方はここにあげたものと異なる可能性があります(開始・終了時刻、トータルでの講義時間6時間は記載のとおりです)。 幅広い内容を取り扱うこともあり、特定の障がいや技法を深く学びたいという方や、すでに特定の分野に造詣が深くそこをさらに深めたいといった動機をお持ちの先生にはお勧めできません。それぞれの動機にあった講座を選んでいただきたいと思います。</p> <p>平成28年度講習【選択】発達に気がかりのある子どもへの支援」と講習の内容が重複します。</p>		